

令和7年度支援機関連携DX意識改革業務 ～ 取組み概要 ～

株式会社イードア

1. プロジェクトの概要

(1)背景とゴール

企業の現状と課題

【現状】

- ITリテラシーの不足、人材・資金面での制約等により具体的なDX^(※)の取組みが進んでいないケースや、必要性への認識が浅い企業が少なくない。

【課題】

- 支援が行き届いていない企業群への啓発と伴走支援が急務。

支援機関の現状と課題

【現状】

- 従来型支援に留まり、DX支援機能を十分に発揮できていない機関が少なくない。
- 組織全体としての支援体制や取組方針が明確でない状況にある。

【課題】

- 組織的なDX支援体制の構築と、担当者のスキル底上げを両輪で推進することが急務。
- 支援機関同士が連携した、支援の事例・ノウハウの水平展開や気づき、解決策等の共有。

< 目指すゴール >

- **自らDX支援に取り組む支援機関の拡大**
- **DX支援のモデルケース創出**
- **成功事例を県内全域へ展開する仕組みづくり**

1. プロジェクトの概要

(2)実施プログラムの概要

- ・ 下記の4つの軸について、「目的」と「期待する効果」を設定しプログラムを実施。

4つの軸	目的	期待する効果	手法
担当者の スキル向上	基礎力強化 実務スキル習得	取引先課題の 掘り起こしと提案	オンラインセミナー
経営層の 関与強化	DX支援の意義を理解 組織方針の策定	推進方針の明文化 組織的取組みが動き出す	オンラインセミナー 対面
個別支援機関への 伴走支援	組織整備・強化	成功事例と 再現可能なテンプレート創出	メンタリング OJT
成果報告	横展開	他機関への波及 県内一体の支援力向上	オンライン 対面

2. 担当者のスキル向上

対象

金融機関の法人営業担当者および商工団体の経営指導員、市町村職員

プログラム趣旨

【目的】基礎力の強化、実務スキルの習得

【施策】基礎力の習得 → 経営者へのアプローチ力の習得 → 提案の引出し強化 の3ステップでセミナーを実施

【効果】企業の戦略や課題を掘り起こし、改善を提案できる

基礎力

経営者への
アプローチ力

提案の引出し強化
取引先の課題への気づき

実施回	内容	
	講師	実施時期
第1回	【意識改革、DXの本質を理解】 ・DX・デジタル活用の必要性、進め方を解説する	2025年8月
	株式会社イードア 石川 翔太 氏	
第2回	【課題の掘り起こし・整理のスキル向上】 ・経営者との対話で将来像や課題の掘り起こしと、課題を整理するポイントを解説する	2025年8月
	みらいコンサルティング 緒方 正之 氏	
第3回	【取引先企業に活かすDX事例の学び ①】 ・間接業務(バックオフィス業務)の改善事例・手法を紹介する	2025年9月
	株式会社THNKアドバイザリー 山内 真理 氏	
第4回	【取引先企業に活かすDX事例の学び ②】 ・中堅・中小企業(建設業、製造業)の業務改善事例を紹介する	2025年10月
	特定非営利活動法人 新潟県ITコーディネータ協会 武内 正一郎 氏	
第5回	【取引先企業に活かすDX事例の学び ③】 ・小規模事業者(小売り、飲食)の業務改善事例を紹介する	2025年11月
	特定非営利活動法人 新潟県ITコーディネータ協会 河合 里美 氏	

2. 担当者のスキル向上

◆ 第1回セミナー

テーマ	DXの本質を理解する
日時	令和7年8月7日(木) 15:00~16:00
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容:DX・デジタル活用の必要性、進め方を解説する 講師:株式会社イードア 石川翔太 氏

◆ 第2回セミナー

テーマ	企業の課題を掘り起こし、整理するスキルの習得
日時	令和7年8月21日(木) 15:00~16:00
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容:経営者との対話でビジョンや課題を聞き取るポイントを解説する 講師:みらいコンサルティング株式会社 緒方正之 氏

◆ 第3回セミナー

テーマ	取引先企業に活かすDX事例の学び①(経理業務の改善事例を紹介)
日時	令和7年9月9日(火) 15:00~16:00
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容:経理業務に関するDX事例を紹介し、取引先への提案の気づきを与える 講師:株式会社THNKアドバイザー 山内真理 氏

2. 担当者のスキル向上

◆ 第4回セミナー

テーマ	取引先企業に活かすDX事例の学び②(中堅・中小企業(建設業・製造業)の改善事例を紹介)
日時	令和7年10月23日(木) 15:00~16:00
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容:製造業を中心にDX事例を紹介し、取引先への提案の気づきを与える 講師:特定非営利活動法人新潟県ITコーディネータ協会 武内正一郎 氏
追加講義	企業によるDX推進事例の紹介 演題:DXで変わる自己改革組織へのX 講師:株式会社バイオテックジャパン 代表取締役社長 江川穰 氏

◆ 第5回セミナー

テーマ	取引先企業に活かすDX事例の学び③(小規模事業者(小売り・飲食)の改善事例を紹介)
日時	令和7年11月6日(木) 15:00~16:00
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容:小売業・飲食業を中心にDX事例を紹介し、取引先への提案の気づきを与える 講師:特定非営利活動法人新潟県ITコーディネータ協会 河合里美 氏
追加講義	企業によるDX推進事例の紹介 演題:お客様に喜びと満足を ことりや社のDX戦略 講師:株式会社ことりや 代表取締役社長 梶原圭一郎 氏

3. 経営層の関与強化

対象

金融機関および商工団体の経営層

プログラム趣旨

【目的】DX支援の意義を理解、組織方針の策定

【施策】先進事例の紹介と経営層間の意見交換により、DX支援の方向性と重要性を共有

【効果】DX支援の推進方針が明文化され、組織的取り組みが動き出す

<プログラムの構成>

	プログラム	内容	実施形式
①	先進事例の共有	県内支援機関の先進的な取組みを紹介	オンライン
②	実践に向けた対話 課題の共有	各支援機関の取組内容、課題の共有、意見交換	対面

DX支援の
裾野を広げる

課題を整理・
言語化する

経営層の参画で、
組織コミットメントを引き出す

3. 経営層の関与強化

◆ プログラム①: 先進事例の共有

- 県内支援機関の先進的な取組みとして、昨年度の本事業において個別に支援し成果が顕著であった支援機関に講師を務めていただき、様々な取組を紹介した。

<セミナーの内容>

テーマ	支援機関経営層の意識醸成、組織的な取組みの促進
日時	令和7年8月26日(火) 15:00~16:30
形式	オンライン(zoomウェビナー)
内容	内容: 県内3支援機関によるDX支援に係る取組みの紹介 講師: 三条信用金庫 営業統括部 副調査役 和田賢汰 氏 新潟信用金庫 コンサルティング推進部 課長 渡邊尚樹 氏 長岡商工会議所 デジタル化推進グループ 担当課長 片桐康成 氏
参加数	21機関

3. 経営層の関与強化

◆ プログラム②:実践に向けた対話／課題の共有

- 支援機関の多くの経営層に参加していただき、対面での取組事例および課題の共有を行った。

<意見交換会の内容>

テーマ	支援機関経営層の意識醸成、組織的な取組みの促進
日時	令和7年10月22日(水) 14:00~16:00
形式	対面(新潟県自治会館301会議室)
内容	次第: <ul style="list-style-type: none">新潟県挨拶(開会)事前アンケート結果の報告経済産業省からの情報発信県内支援機関のDX支援事例発表 第四北越銀行、新潟信用金庫、三条信用金庫、長岡商工会議所意見交換新潟財務事務所挨拶NICO挨拶(閉会) 意見交換の議題: <ol style="list-style-type: none">DX支援は、支援機関の業務の中でどのような位置づけと認識して取り組んでいるか組織的なDX支援の一步を踏み出すために、<ul style="list-style-type: none">課題と感じている／感じたこと重要な点、苦勞した点とそれを乗り越えるために意識した点／取組み
参加数	24機関、36名



4. 個別支援機関への伴走支援

DX支援に意欲のある県内支援機関に対して、各支援機関の現状と課題に沿った伴走支援を実施。後述する成果報告会により、モデルケースとして県内支援機関へ発信した。

対象機関

支援機関	取組みテーマ
上越信用金庫	取引先DX支援の実施に向けた内部体制の整備と地域との連携強化
村上信用金庫	DX認定プロセスで実現する「自社DX×取引先DX支援」両面での体制構築
協栄信用組合	若手職員のDX支援スキル向上の取組み及び外部機関と連携したDX支援体制の構築

プログラムの構成

階層	プログラム	内容
組織体制整備	① メンタリング	各支援機関が効果的に体制整備を進めるための壁打ち相手となる。
	② DX認定の取得	支援機関自身が認定取得を通して、DXの進め方を理解する。
担当者の支援スキル向上	① 経営者へのアプローチの理解	企業経営者、現場担当者との面談を通して、取引先のビジョンや課題等を掘り起こすアプローチを解説する。
	② ケース研修	仮想企業を題材にして、企業の経営課題・改善策を特定する過程をワークショップ形式で体験する。
	③ 実践研修	企業面談に専門家が帯同。事前整理、アフターフォローを通してヒアリング手法等を習得する。

4. 個別支援機関への伴走支援 ～ 組織体制整備

◆ プログラム①:メンタリング

プログラムの要旨

【目的】DX支援体制の構築を外部支援により効果的に進捗させる

【施策】専門機関による1対1の壁打ち支援・課題整理・施策立案を段階的に実施

【効果】各支援機関の内部での推進方針・支援内容・体制整備が明文化され、機能として定着する

◆ プログラム②:DX認定制度の取得

プログラムの要旨

【目的】DX認定取得を通して、DX推進力醸成・強化、およびDXの進め方を理解する

【施策】自社の現状把握・ビジョン等を整理、DX推進に向けた体制整備等をサポートする

【効果】DX推進を実体験することで具体的な企業提案・支援が行える


<プログラムの内容>

内容	各支援機関の施策策定および課題に関して壁打ち相手となり体制構築を支援。 <ul style="list-style-type: none">• DX支援推進計画の作成• 取引先の事業支援フローの作成• 外部連携先の活用検討• DX認定取得 等
実施方法	• 対面／オンラインの併用
実施頻度	• 毎月1～2回、1回あたり1～2時間

4. 個別支援機関への伴走支援 ～ 担当者の支援スキル向上

プログラムの構成

- 基礎知識習得～実践を体験することで、担当者の主体性・行動力を醸成する。
- 本部職員が受講し、組織における専門人材として社内(営業店)へ展開する体制を構築する。



プログラム	内容
<Step1> 経営者への アプローチの理解	企業経営者、現場担当者との面談を通して、同社の現状のビジョンや戦略、課題等を掘り起こすアプローチを解説する。
<Step2> ミニケース研修	仮想企業を題材にして、企業の経営課題・改善策を特定する過程をワークショップ形式で体験する。
<Step3> 実践研修	取引先との面談に専門家が帯同。事前整理、アフターフォローを通してヒアリング手法等を習得する。

4. 個別支援機関への伴走支援 ～ 担当者の支援スキル向上

◆プログラム①<Step1>: 経営者へのアプローチの理解

プログラムの要旨

- 【目的】企業のDX課題を経営視点から引き出すための、適切なアプローチと支援提案ができるスキルを養う
- 【施策】経営者へのアプローチから提案までをストーリー構成で学習
- 【効果】経営者との信頼関係を築き、支援提案の質と納得感が向上する

<プログラムの内容>

テーマ	企業の課題を掘り起こし、整理するスキルの習得
日時	令和7年10月28日(火) 13:00～17:00
形式	対面(会場: プラカ3 B1F NINNO3)
内容(※)	内容: 経営者との対話でビジョンや課題を聞き取るポイントを解説する 講師: みらいコンサルティング株式会社 緒方正之 氏
対象	本部担当者、営業店法人営業担当者
参加数	4 機関16名 ※「P.10に記載した3機関に、1機関を追加して実施。



※テーマは「担当者向けDX支援スキル向上研修」の第2回目と同じであるが、内容をより充実し、ワークショップ形式で実施した。

4. 個別支援機関への伴走支援 ～ 担当者の支援スキル向上

◆プログラム②<Step2>:ミニケース研修

プログラムの要旨

【目的】現場で通用する支援スキルを体系的に習得し、実践に繋がられる担当者を育成する
【施策】ITコーディネータ資格認定の研修エッセンスを抽出した演習+グループワークを実施
【効果】「何を、どう支援すれば良いか」が明確になり、自走的な支援行動が可能になる

<プログラムの内容>

テーマ	モデル企業を題材にして、企業の経営課題・改善策を特定する過程をワークショップ形式で体験する。
日時	令和7年11月12日(水) 13:30~16:30
形式	対面(プラカ3 B1F NINNO3)
内容(※)	内容:IT経営についての解説、ワークショップの実施 講師:非特定営利法人新潟県ITコーディネータ協会 武内正一郎 氏
対象	本部担当者、営業店法人営業担当者
参加数	4 機関19名 ※「P.10に記載した3機関に、1機関を追加して実施。



<ワークショップの流れ>

企業の現状分析

経営課題の把握

ギャップ分析

IT戦略立案

4. 個別支援機関への伴走支援 ～ 担当者の支援スキル向上

◆プログラム③<Step3>:実践研修

プログラムの要旨

【目的】座学で学んだスキルを実際の企業支援に応用し、実践力を強化

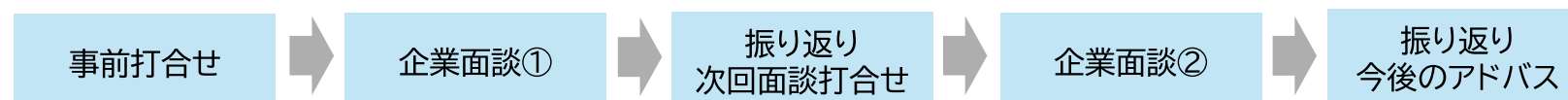
【施策】専門家の帯同支援により、企業面談での支援実践を体験

【効果】担当者が自信を持って支援に臨めるようになり、支援スキルが現場で定着する

<プログラムの内容>

テーマ	企業の戦略・課題等の整理、デジタル活用の検討をOJT形式で実践する
形式	事前打ち合わせ:オンライン、企業面談:対面(同行)
内容	内容:取引先に対する、現状把握・課題の聞き取り・改善策提案を専門家の帯同支援により実施 講師:非特定営利法人新潟県ITコーディネータ協会会員(ITコーディネータ)
対象	本部担当者、営業店法人営業担当者
参加数	3機関20名

<実践研修の流れ>



5. 成果報告会

- ・ 伴走支援対象機関によるDX支援強化に関する取組みおよび成果を発表。
- ・ 各社発表後の質疑により、支援機関相互の情報共有の機会とし、継続的な学び合いのネットワーク構築に繋がった。

プログラムの要旨

【目的】DX支援取組事例の横展開と成果の継承
【施策】伴走支援を行った支援機関の取組み・成果の紹介
【効果】主体的な取組の増加、県内全体の支援水準向上

<成果報告会の内容>

日時	令和8年2月10日(火) 13:00~14:40
形式	対面(プラーカ2 2F NINNO)、オンライン(zoomウェビナー)
内容	次第: <ul style="list-style-type: none">・ NICO挨拶(開会)・ 事業説明・ 上越信用金庫の発表/質疑・ 村上信用金庫の発表/質疑・ 協栄信用組合の発表/質疑・ 経済産業省コメント・ DX総合相談窓口の機能、支援事例の紹介(閉会)
参加数	40機関80名 うち支援機関19機関(現地参加:11機関、オンライン聴講8機関)





Ε Δ Ο Λ